

第6回箕面市総合計画策定委員会議に対する意見（五藤）

これまで何回か提案された各案に対しては、市民会議の提言書のレベルにも達していないとして、行政の専門家の皆様からは市民会議の提言書を超えるレベルの総合計画案をこの会議に提示していただくようお願いしてきましたが、今回提示されましたものは、事務局はじめ各分野別策定検討会議の皆様のご尽力により、かなり完成度が上がってきたとの印象を受けています。しかし、形式的には市民会議の提言書が尊重されているものの、まだ充分ご理解いただけていない点もあり、更に、表題や文章の表現が「市民にわかりやすい」という意味で最適なのかどうか、成果指標はこれで充分なのか、全体のバランスがとれているのか等々、完成度を一層高めるためにも次の意見・提言についてご検討願います。特に指標については分野ごとにかなりばらつきがあり、別途まとめて見直すことも必要ではないかと思えます。

基本構想（案）

頁	行	意見 提案
3	下7	<p>目標値(成果指標)は計画にあげられたすべての方針や取組を的確に反映できているとは言えないので、目標値と同時に取組の遂行状況も評価すべきである。「取組や目標値が達成できたか・・・」</p> <p>また、「行政評価」によって明らかにするのは間違いないが、現行の行政評価制度がイメージされるので、それとは異なることが理解できるように書くべきである。</p> <p>次のローリングして計画を見直すのも目標値だけではなく基本計画のすべてを対象にすべきではないか。</p>
10	8	<p>基本方向の見出しについて全面的な見直し提案があり、事務局から策定委員会議で検討するよう指示があるが、全面的な見直しをしない場合でも「(3)みんなでまちの安全・安心をつくります」では基本方向の内容をイメージできないのではないか。</p>
11	14	<p>「自主的な地域の支え合い・助け合いにより消防力の充実が図られる」とあるが、消防力の充実には地域の支え合いや助け合いが最大のポイントなのか？</p>
11	下7 基本 方向 (1)	<p>基本計画でも最初の1-(1)で「健康は自分で守り」と出てくるが、これは健常者の発想であって、何か病気を持っている人や障害者などやむを得ず自分で健康を守れない市民の目線で見れば大変厳しく温かみのない総合計画と受け止められかねない。</p> <p>市民会議の提言書も同様の表現なので否定しがたいが、何か工夫した方が良いのではないか。例えば、多少弱くなるが「みんなで健康を守り」とするとか、基本方向(2)の「誰もが支え合って・・・」を(1)にして、高齢者、障害者、子ども以外に何か病気を持っている人も加えるような内容に補正した上で、「健康は自分で守り・・・」を(2)に持つて行くなどの配慮が考えられる。</p>
12	12	<p>「市民と連携して消防行政の推進をめざします」は間違いではないが、読んだ市民にはわかりにくい。例えば、市民の協力を得て火災や救急への備えを充実するなど、もう少し具体性のある書き方が理解しやすいのではないか。</p>
12	下1	<p>消費や食の安全というのは犯罪性を帯びた消費者被害が多発しているので、雇用問題とひとくりにせず、むしろ(3)の安全安心に入れる方が自然ではないか。行政の現行組織を前提にすると無理なのかもしれないが。</p>

頁	行	意見提案
13	3	表題が「子どもたちの夢が育つまち」とあって子どもが主体の節と受け止められるのに、いきなり「すべての市民が」と出てくことに違和感を感じないか。「子どもも大人もすべての市民が…」とするとか、この節には生涯学習など大人も対象になっているので、例えば表題を「子どもも大人も育ち合うまち」とか「子どもも大人もともに育つまち」とするなどひと工夫あっても良いのではないか。
13	5	めざすまちの姿 実現に向けた環境が整うレベルではなく、「…支援も充実し、また、真の男女協働参画社会が実現しています」というレベルになっていなければならないのではないかと 9 取り組みが進むことには違いないが、その結果「(市民・行政による地域ネットワークが形成されて、)子どもに対する虐待もほとんど見られなくなり、子どもたちが安全かつ豊かに育ち、子どもも大人もともに育つまちになっています。」というように取り組んだ結果をまちの姿として表した方が良い。
16	姿の下3	産業誘致について書かれているが、そういう方針があるなら基本方向や基本計画でも触れた方が良いのではないかと。
20	下7	「仕組みづくりを進めます」では不十分で、「仕組みを早急に確立します」と明確に書くべきである。

基本計画(案)

頁	行	意見提案
2	16	商業・業務機能が集積しているとあるが、市民活動センターや市営駐車場はあるものの業務機能が集積しているとは言えないのではないかと
6	グラフ	<p>経常経費ベースの財政見通しが表示されているが、これまでの市民への説明は常に一般会計(普通会計)ベースであり、緊急プランでは経常収支比率に焦点を当てたこともあって経常一般財源ベースの説明がなされた。そのため多くの市民は財政の全体像がよく理解できていないのではないかと。箕面市全体の財政運営の健全化が課題なのだから、全体像を理解できる数値が示されなければならない。</p> <p>また、経常経費充当一般財源を歳出とするならば、基本計画対象期間は人件費、その他の義務的経費、物件費、投資的経費、公債費、その他程度の大分類で示すべきである。</p> <p>財政の健全化は今回の総合計画の主要課題であり、どのように健全化させていくのか市民にも見える姿を計画化し、毎年ローリングして2017年までを見直すべきである。</p> <p>(参考)他市の総合計画の財政フレームの例(普通会計)</p> <p>歳入:市税、国・県支出金、市債、その他、合計</p> <p>歳出:人件費、扶助費、公債費、投資的経費、その他、合計</p>

頁	行	意見提案
10	全体	<p>協働のまちづくりを推進するために市民、市職員、学識経験者で構成された付属機関またはそれに準じる市長の諮問機関の早期設置を明記すべきである。これは市民会議の提言書にも「まちづくり市民会議(仮称)の設置」として提言されており、そのような協働の核となる機関を設立して、その機能を発揮できないと協働によるまちづくりは成功しない。</p> <p>第4次総合計画でも「市民参加のまちづくり」という課題を掲げ、「身近な地域における課題や魅力づくりについて、市民自らが検討・研究に取り組み、市行政への政策提言を実施するなど、それぞれの地域が主体的に地域のことを調整・解決していくことのできるシステムの確立をめざします」と記述されているが、ほとんど何も確立されていないのが実態なので、その反省も含めて市民会議が提言していることをご理解いただきたい。</p>
11	1	<p>基本構想の部分でも述べた通り、現行の行政評価制度とは異なる制度としてイメージできる書き方にすべきである。</p> <p>3行目以下についても、成果指標だけではなく個別取り組みを含めて総合計画全般の達成度を評価すべきである。また、ここでは総合計画だけを対象にしているかもしれないが、あらゆる基本的な計画についても同様の対応を進めることを付記すべきである。</p> <p>関連計画は非常に多いが、折角計画を立てても、環境の変化や担当者の移動に伴って軽視されたり、実情に合わないまま放置されるケースが散見されるなど、計画を立てた時の意気込みがいつの間にか後退していることが多く、市民などが参画してきっちりフォローする仕組みができていないのは問題である。</p>
11	図	<p>市民ニーズを的確に把握できるかどうかは RESEARCH のやり方に負うところが多い。従って、RESEARCH を企画する段階でも市民や学識経験者を参画させるべきである。</p>
15	下5	<p>行政は単に支援するだけではなく、市民が健康づくり運動を展開するための基盤を確立しないと市民は動かないのではないか。</p>
18	2	<p>高齢者を福祉の面からのみ捉えているが、基本構想5ページ9行目以下に「高齢者の社会参加を促進し…」という課題を掲げているのだから、そのことも高齢者施策に加えるべきではないか。市民の役割にも加えるべきである。</p>
19	指標	<p>グループホーム、ケアホーム利用者は対象者数が少ないので、高齢者対策の指標として最適か。数倍の受け入れ体制を整備するというならわかるが。特養の待機者数が多いことなどが問題ではないのか。</p>
21	10	<p>「最新情報を共有して災害防止策を講じると共に、その限界と…」というように災害防止策を講じることが重要なのではないか。</p>
22	1	<p>市民は消防団に積極的に参加することが求められているのか。「自治会活動などに」はここでは「自治会などの防犯活動に」ではないのか。</p>
25	指標	<p>シルバー人材センターは登録してもほとんど仕事をしない人も多いと聞くので、実際に就労できた延人数がわかれば、その方が実体を表すと思う。</p>
27	14	<p>性別だけを取り上げるのではなく、書くなら基本構想13ページの最初のよう「国籍、性別、年齢にかかわらず」とした方が良い。</p>

頁	行	意見提案
28	指標	外国人市民相談件数 前回も指摘したが目標達成のために努力すべき指標になるのか。人権調査などで、例えば「人権を侵害されていると思う外国人の割合」などは出せないのか。 行政委員会及び附属機関の女性委員の割合は35%を超える目標を設定しても適任者がいないということなので、それが事実ならやむを得ないが、女性委員がいない場合も散見されるので、女性委員不在の委員会等をなくす目標も必要ではないか。
30	20	の「多様な自然体験、社会体験を可能にする生活環境の形成を進めます」は立派な取り組みだが、生活環境の形成と言われても市民には何をするのかわかりにくい。具体的に書かないなら「多様な自然体験・社会体験の機会を増やします」程度では？
30	下12	各主体の主な役割の「主体」の区分も一定の基準を設けるべきである。ここでは【市民】がなくて【保護者・家庭】になっているが、【市民】ではまずいいのか。【事業所・企業】も他では、【事業所】であったり【事業者】であったりまちまち。【自治会や NPO など】というのも多いが、自治会に限定せず【地域の団体や NPO など】(42 ページ)で統一しては？
32	17	基本方針に学校図書館を利用する事業、食育に関する授業など具体的な取組まで書かれているにもかかわらず、相変わらず子どもの権利や意見、子どもの目線を尊重する方針が見られない。「質疑応答と追加意見のまとめ」13 ページ最下段には子どもの目線で考えていくとあるように、基本方針や取組にもその姿が読み取れるよう表現にした方がよい。
33	最下段	役割を果たす主体として NPO などもあるのではないかと。事実学校教育に協力している NPO も存在している。
34	指標	校庭の全面芝生化は結構かと思うが、方針にも取組にも直結していないので不要ではないか。 「新体力テスト」同様に全国学力テストの結果も成果目標にあげた方がよいのではないかと。
37	指標	教育委員会主催講座の満足度も結構だが、36 頁の取組「市民が自主的な生涯学習活動を活発に行います」の成果目標として市民企画講座の開催回数などを取り上げてはどうか。
40	指標	温室効果ガス発生削減目標を、他の計画の達成度ではなく、定量的に設定できないかと。
44	11	「市財政への影響が懸念されます」とあるが、懸念されるどころか財政への影響があることは前提で進めているのだから、「市財政への影響も勘案しながら慎重に進めなければならない」など、この課題については財政負担が過大になれば実現しない可能性も秘めていることを明確にすべきである。取組の欄に明記しても良いが、
50	3	現状と課題の説明が少しくどいのではないかと。親切に書かれているし、内容もその通りであろうが、ロードサイドショップやチェーン店まで引用せずもう少し簡潔に書けないかと。

頁	行	意見提案
52	下 7	「市民や事業者の主体的な・・・」では、ほとんどすべての分野別計画に共通するので、どんな取組を支援するのか明示した方が良い。
57	下 12	【自治会や NPO】 新たな事業の実施主体とあるが取組の中のどの事業なのか明記した方がわかりやすい。
60	役割	地域住民に信頼されるリーダーやコーディネーターの育成成否がポイントになるので、そのための市民や行政の役割も明記した方が良い。
65	15	2. 基本方針 「市役所の組織力を強化する」という語が何度も出てくるが、意味するところはわかるものの、具体的に何をしようとしているのか市民にはわかりにくいのではないかと。 表題に「健全な財政を次世代に継承します」と言いながら、基本方針や取組には財政に触れていない。6 頁の財政運営の考え方にも書かれているが、ここで健全化の成果指標を掲げていることでもあり、基本方針と取組にも明記すべきである。
66	下 10	市民の役割、行政の役割 市民の役割は大変重要であるが、現在多くの市民にこのような意識は根付いておらず、市民に意識を根付かせる施策が行政の役割として大変重要である。従って、単にプロデューサーとして機能するだけでなく、市民や地域団体、NPO などの動機づけのための具体的な仕掛けや仕組みを確立することを行政の役割に加えるべきである。
67	指標	基金残高と市債残高は対で示されるべきなので、地方債残高を指標に入れる。常勤職員定数は病院などを除く普通会計ベースで目標値を設定し、10 年後には現状比 20% 減を目標とすべきである。箕面市は類似都市に比べ市民一人当たりの職員数が多いこと、人件費比率が 40% を超えて極めて高いことが問題なのだから、それを是正するために経営の効率化を図るのではないかと。
71	下 2	「新たなテーマ型組織の融合を図り」というのは 5 - (2)にある市民活動団体の連携を言っているのだろうが、ここだけを読んだ人にはわかりにくい。

文章の表現について、キーワードは原案を前提として気になった点を列挙します（ご参考まで）。

見出しや文章の表現については、より読みやすく、より親しみやすいようにコピーライターなどの専門家の校閲を得るとか、例えば市内の国語の先生に協力願うなど日本語に関する識者の助言を得て、計画書全体の品格を上げた方が良いのではないかと思います。

基本構想（案）

頁	行	何となく引っかかる部分
1	6	少子高齢化とそれによる本格的な少子高齢化に伴う本格的な少子高齢化による本格的な少子
1	17	解決していくことが必要です 解決していくべきです 解決する必要があります

頁	行	何となく引っかかる部分
1	下 1	役割も果たします 役割を果たします 「も」では二次的役割のように読み取れる
5	19	今後ますますボランティア活動に参加する市民も増えてくると 今後ボランティア活動に参加する市民もますます増えてくると
5	20	このような中 ?
5	下 10	市と市民が、情報の共有に基づき 市と市民が情報を共有して
8	図の 下 5	住民の定着化 市民会議提言書の通りであるが「化」が必要か、あった方が 良いのか、不要か?
8	図の 下 2	P6 の箕面の魅力アップに合わせて、「住んでみたいまち」「住みつづけた みたいまち」の順にする
9	10	「消費者の動向に」とあるが、住宅消費者という意味では間違い ないが転居者または転入者の方がわかりやすい?
13	5	環境づくりがさらに進んでいます 環境が整っています
13	下 8	家庭・地域における 家庭や地域における
16	5	次世代に引き継ぐまちになっています 次世代へ引き継がれています
16	姿	「また」が多い
20	下 3	市民参加の機会を増やします 市民参画の機会 または 市民が参加・参 画する機会

基本計画（案）

頁	No	何となく引っかかる部分
1	3	（「わがまち・みのお」の姿）に間違いはないが、「わがまち・みのお」という用語がどこにも出てこないのに（ ）書きで入れる必要があるのか。
4	9	随時住宅供給が進み 「随時」よりは「徐々に」とか「継続して」とかある いは「住宅供給が進みつつあり」では？
4	下 2	西部、中部地区は 2022 年から人口減に転じるのではなく、もっと以前から転 じているので、誤解されないような表現に変えるべきである。
14	15	「非営利団体」 NPO に統一しても良いと思うが
17	下 3 下 2	「高齢者施策を推進します」「障害者施策を推進します」は正しいが、もう少 し具体性のある表現にした方が良い。
21	13	地域の防犯を 地域の防犯活動を
23	14	豊かで安心した暮らしができるよう 安心して豊かに暮らせるよう
27	14	教育 ここでは場を表すなら「学校」か。「教育」の方が意味は広いが。
29	7	新市街地・既存市街地における今後の・・・ 地域別に今後の・・・
41	15	取組を活発にし分散・点在しがちな 取組を活発にし、分散・点在しがちな
55	17	推進する仕組みづくりを行います 推進する仕組みを作ります
60	3	地縁団体への市民参画 ここは「市民参加」でよいのではないか
60	5	SNS 使い慣れていない市民にはわかりにくいので日本語で表示しては？

頁	No	何となく引っかかる部分
60	下 6	CSR 使い慣れていない市民にはわかりにくいので日本語で表示しては？
66	12	行政だけが「公共」を独占するのではなく 行政だけが「公共」の担い手ではなく
66	19	BPR 使い慣れていない市民にはわかりにくいので日本語で表示しては？
66	下 3	「地域のさまざまな」コミュニティ 何度も出てくるので、ここでは「これらの」コミュニティにでもしては？
70	5	「農地などの自然的な土地利用」という語が専門的に使われているなら問題ないが、後に都市的な土地利用とあるのに対比すれば「田畑など農村的な土地利用」